

---

# 西川 元気 ビジョン 2019

---

「笑顔」で迎える「確かな未来」のために。

## 私の決意

平成15年から15年余、他県を上回る水準で行財政改革をすすめ、県民の「暮らしの質」を高める政策を最重点に予算を振り分けてきました。そして、県議会や17市町、県民の皆さんとともに「元気あふれる日本一のふるさとづくり」に全力を傾けてきました。

3回連続の「幸福度日本一」や学力・体力日本一の定着、福井国体の総合優勝と障スポとの融合、北陸新幹線若狭ルート決定——。子どもたちも若者も、シニアも女性も障がい者も、77万県民が勤勉な県民性をいかに発揮し、小さな県だからこそ力を一つにして高い目標を実現してきました。

次の4年間は、県勢を左右する100年に一度の重大局面です。

この難局を突破するため、確かな「実績・行動力・交渉力」に裏付けられた私のビジョンと新しい政策をここに示します。これまでの良い流れをいっそう加速させ、県民の皆さんの暮らしをより高いステージへと引き上げるため、私は、全身全霊を捧げる覚悟です。

県民一丸となれば夢を成し遂げられるという自信と誇りを、すべての県民の皆さんと共有し、「県民融合」の力で福井の「確かな未来」づくりを加速しましょう。

引き続き、私に力強いご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

平成31（2019）年3月

西川一誠

# 西川『元氣ビジョン』2019 の基本的な考え方

## さらに「元氣」な福井県に

これからの4年間は、福井の将来が決まる大事な時期であり、新しい発展に結びつけるための、まさに正念場です。

国体・障スポの成果である県民一致の精神、長年の努力による高速交通体系が完成をみる福井県の利点などを、人づくりやまちづくりに最大限に活かし、「ふるさと福井の新時代」を切りひらいてまいります。

## 日本一のしあわせ実感、日本一の共生社会

幸せ実感のふるさとの暮らしを守ることは知事の最大の責務です。子育て・教育、医療・福祉、仕事、安全安心の基盤充実に全力を尽くし、県民だれもが将来の不安なく元気に暮らし、あらゆる境遇の人たちが「生涯ベスト」を尽くせる環境をつくります。

人口減少・少子高齢化に立ち向かい、人生100年時代に、年齢、性別、障がいの有無に関わらず、県民一人ひとりが互いに支えあい、様々なことに挑戦・活躍できる「共生社会日本一」の福井県を目指します。

## 世界につながる「毎日いきいき福井人」

北陸新幹線・高速道路が首都圏・関西・中京と直結する最大の好機です。福井を外に大きく開き、若い世代を呼び込むとともに、県民自身が内外の交流を糧に、より活動的になり、福井に対する自信や誇りを深めていく姿こそ「ふるさと福井」の将来像だと考えます。

国体の成果を活かしてスポーツ・文化の力を高め、幸福日本一の県民の暮らしの中に「楽しみ」をプラスしながら、新しいこと面白いことが次々と生まれる楽しさあふれる福井県を目指します。

## 知恵と技術で全産業発展、県民所得向上

ふるさとの活力と安定には、農林水産業や観光を含む産業の充実が欠かせません。健康や宇宙、AIなど成長分野の取り込みはもとより、老舗企業の持続的な発展を応援し、産業基盤を確固たるものにします。

また、「農林水産業とともにある福井県」を基軸にしながら、すそ野の広い観光産業や新技術など異なる分野と融合させ、全産業の成長力を大きく高め、県民の所得と暮らしの快適性を向上させます。

## 継続の力で難局突破。「健全財政、“信頼” 県政」

現場の声や活動と政策の融合を一層徹底し、市町・議会との連携はもとより、県民・企業・団体と一丸となって、政策の実効性をさらに高めます。そのためにも公正なクリーン県政を守り、健全財政をしっかりと維持し、県民の暮らし向上と未来への大胆な投資を確実にを行います。

## 西川『元気ビジョン』2019 5つの「元気」と13の政策

こうした考えのもと、西川『元気ビジョン』2019においては、「日本一のふるさとづくり」の新たな一歩を踏み出すための「ひと」、「まち」、「産業」、「県土」、「県政」をさらに元気にする**5つのビジョン**と**13の政策**を約束し、これを実行します。

### I ひとが元気

笑顔で100歳。誰もがベストを尽くせる社会に

- 1 心豊かに個性と能力をのばす。愛情いっぱいの「ていねいな教育」
- 2 挑戦・活躍を支える「日本一の共生社会」
- 3 希望を叶える結婚・子育て、UIターン
- 4 いつでも、どこでも安心の医療・福祉

### II まちが元気

交流拡大。毎日が楽しくなる福井に

- 5 交通便利，人が集いにぎわう“まち”に
- 6 スポーツと文化で地域に活力
- 7 ふるさとの風景・コミュニティを大切に

### III 産業が元気

産業飛躍。農林水産業や観光、全産業を発展

- 8 新分野進出と持続的発展の福井の企業
- 9 夢とコミュニティが生きる農林水産業
- 10 「観光産業」の力発揮へ。宿・食・土産に市町の逸品

### IV 県土が元気

安全安心。暮らしを守る県土づくり

- 11 災害への備えと対応を万全に
- 12 責任ある原子力・エネルギー政策

### IV 県政が元気

県民一丸。「チームふくい」の総力県政

- 13 “信頼”県政で県民益を最大化

以下にかかげる○印の施策は、これから4年間の任期中に実行し成果を出すものです。これまでに成果の出ているものや、マニフェスト『元気宣言』により継続的に行っている政策項目が別途あります。また、新たな課題については、迅速に対応していきます。

# Ⅰ 笑顔で100歳。誰もがベストを尽くせる社会に

## 1 心豊かに個性と能力をのばす。愛情いっぱいの「ていねいな教育」

「学力・体力日本一」に加えて、一人ひとりの児童生徒の個性を尊重した「ていねいな教育」をさらに充実します。学力だけでなく、スポーツ、文化・芸術などの分野にチャレンジできる環境を学校・地域と協力してもっと広げ、多様な能力を持つ子どもたちの「がんばり抜く力」を伸ばします。

### つぎの4年間で実行する主な政策

下記の項目は、教育委員会、県立大学などと協力して実行します。

#### ◆「福井型18年教育」の前進

##### ○個性と可能性を伸ばす教育

- ・「学力・体力日本一」を堅持。勉強や運動などが苦手な子どもたちに丁寧に指導
- ・一人ひとりの「最適化された学び」。中学校の習熟度別学習やAI等の活用
- ・小中校生向けのプログラミング教育、福井を担う次世代産業人材を育成
- ・福井の先人100人、福井の偉人オーラルヒストリーなど、ふるさと教育を充実

##### ○みんなが学びやすい学校に

- ・発達障がい等の早期発見・早期支援、通級・特別支援学級や特別支援学校の学習充実
- ・地域と連携し、いじめ防止、不登校対策、外国籍児童生徒への学習・生活支援

##### ○高校の学力向上

- ・大学入試改革に向け、授業力向上や受験対策に万全
- ・外国語教育や国際交流に重点、カリキュラムに海外留学を位置付け
- ・高校生が地域振興の一翼、市町や産業界と地域課題解決に向けた探求的学び

#### ◆教育・学習環境の向上

##### ○高校生を持つ家庭の負担軽減

- ・公立高校に加えて、私立高校も授業料を無償化

##### ○教員の多忙化を解消

- ・先生が子どもと向き合う時間を増加、授業外業務や部活動に多様な外部人材を活用

##### ○学校施設の環境整備

- ・学校施設の長寿命化改修とトイレ改修、エレベーター設置、体育館の酷暑対策

#### ◆県立大学の地域貢献をさらに

##### ○新学部・新学科の創設

- ・農業、水産業、地域経済、恐竜など、福井の良さを伸ばす教育・研究体制を拡充

##### ○「学び直し」教育の充実

- ・社会人のリカレント教育など、専門・実践教育への多様なニーズに対応
- ・福井の自然環境や歴史文化、経済産業などを総合的に研究する「福井学」を推進

## 2 挑戦・活躍を支える「日本一の共生社会」

ひとが“宝”の福井県。東京オリ・パラに先駆けて「融合」を実現し、大成功を収めた国体・障スポの経験を様々な方面に活かし“人生100年時代”を目指します。年齢・性別・障がいのあるなしに関わらず一人ひとりが自らの目標に挑戦し、活躍・貢献する「日本一の共生社会」を築きます。

### つぎの4年間で実行する主な政策

#### ◆「日本一の共生社会」の実現

##### ○シニアの“活躍年齢”を拡大

- ・「年金プラス有償の教え」のプロジェクト—豊かな知識・経験を活かし先生役に
- ・ボランティアや就労など、シニアの活躍支援拠点を開設

##### ○障がいの者の所得と活躍の場を拡大

- ・障がいの者の雇用率・賃金の継続向上（全国最上位）
- ・障がいの者が農業分野で就労・活躍し、農家も助かる農福連携を推進
- ・多彩な才能が輝く障がいの者アートの鑑賞機会の拡大

##### ○女性の元気が福井の元気

- ・女性活躍支援センターに学び直し機能、人生100歳時代の女性の第2キャリア支援
- ・「ふくい元気女子アワード」を創設、起業家など各分野で活躍する女性を顕彰
- ・経営トップの意識改革と女性がもっと実力発揮

##### ○若者のふるさと貢献

- ・仕事に役立ち、婚活にもなる“二兎を追える”若者向けボランティア
- ・業務に関連したボランティア活動を行う「ダブル活躍企業」を奨励

#### ◆夢への挑戦、みんなで応援

##### ○福井を本拠に夢を実現

- ・夢挑戦の県民をサポートする「ふくい挑戦応援基金」を設立。ふるさと納税・クラウドファンディング・遺贈寄付などの活用・拡大
- ・一流指導者による特別集中レッスン開講。スポーツ・芸術・工芸など新分野の挑戦を後押し

##### ○内に外につながる・ひろがる「若者チャレンジ」

- ・若者のネットワーク・活動の拠点—「若者チャレンジ案内所」を県内全域に
- ・福井をフィールドに活躍する「関係人口」を都市から誘致
- ・「福井とつながる人材育成カレッジ」を3大都市圏で開催—都市人材と連携したまちづくりや起業のスタートアップ応援
- ・福井を元気にするプランを全国公募、県外活動グループも積極応援
- ・地域おこし協力隊を市町とともに全国から。優れた活動の表彰制度とネットワーク拡大応援で定着促進

### 3 希望を叶える結婚・子育て、U・Iターン

福井のつながりの力を活かし、結婚そして子育てと仕事との両立など、女性も男性もともに希望を叶えられる「多様な支え」をもった社会づくりを加速します。また、「幸福日本一」福井への人々の流れを作り出す“攻め”の移住政策を、県と市町との体制を一段と強化して、展開します。

#### つぎの4年間で実行する主な政策

##### ◆市町・産業界・地域の力を結集して、人口減少総合対策

###### ○人口減少対策戦略の改定

- ・自然減対策、社会減対策の総括と新展開、人口減少社会への適応計画を強化

##### ◆日本一の「結婚・子育て応援社会」

###### ○福井発祥「めいわくありがとう縁結び」を新展開

- ・縁結びさんや結婚相談員の活動を応援する総合拠点「縁結び交流センター」開設
- ・全国初の自然な出会い創出プロジェクト。企業横断の社員交流やサークル活動促進

###### ○みんなの手で子育て応援

- ・延長保育、病児・病後保育など働く世代の安心子育て充実
- ・産後ケアなど、核家族の子育てや第1子からの子育ての支援強化
- ・3人っ子応援プロジェクトを拡充、「在宅育児」も経済サポート
- ・「父親の1week 育児休暇」運動を展開、日本一のカジメン・イクメン県に

##### ◆福井U・Iターン政策のスケールアップ

###### ○“攻め”の移住政策を企業・市町とともに全面展開

- ・人材スカウト体制を整え、福井Uターンセンターのマッチング機能を強化。  
関西・中京からの社会人移住支援パワーアップ
- ・「日本一仕事がある日本一の田舎」発信プロジェクト。福井の多様な働き方と豊かな暮らし、元気な企業をあらゆるツールで発信
- ・「家庭をもったら福井が一番」。結婚&移住ポジティブキャンペーンを展開
- ・職・住居・定着サポートの3点セット「市町定住パッケージ」開発を後押し

###### ○高校から大学まで新卒人材確保の総合戦略

- ・県内高校・専門学校・大学と企業、行政一体の「地元就職拡大プロジェクト」
- ・「技術と人材の産学官連携」。理工系研究室を対象に企業をもっと知る機会創出
- ・県外大学との就職支援協定を大幅増。企業とともに学内説明会を充実
- ・最も出費が大きいUターン就活交通費への助成拡充、保護者や学生の負担軽減
- ・就活の早期化・通年化に対応した新しい就職支援

## 4 いつでも、どこでも安心の医療・福祉

がん治療など先進医療や県内全域の救急医療環境を整えるとともに、住み慣れた地域における安心の医療・福祉体制を充実します。また、“人生100年時代”の到来に向けて切れ目のない世代別対策を強化し、何歳になっても生き生きと暮らせる「健康長寿日本一のふるさと」をめざします。

### つぎの4年間で実行する主な政策

#### ◆予防から病後ケアまで充実医療

##### ○医療の地域格差を是正

- ・ 医師確保（奥越、丹南、嶺南）、診療科偏在（内科、産科、小児科）の対策実行
- ・ ドクターヘリの単独導入、県内全域をカバーする救急医療体制を確立
- ・ 基幹病院から医師不足地域への派遣体制「ドクタープール制度」を導入
- ・ 4大病院の役割分担。診療科単位の役割分担や得意分野の病院特化
- ・ 総合診療医を育成。遠隔カンファレンスとAIによる診療サポートシステム構築

##### ○すべての世代に先端がん対策

- ・ 「小児・AYA世代のがん治療」の諸課題（発育、妊娠、出産等）にフォローアップ外来や相談窓口
- ・ 先端医療をリードする陽子線がん治療センター、難治性がんの治療・研究
- ・ 各拠点病院での緩和ケアセンター機能強化、多様化する緩和ケアに対応
- ・ 就労、就学等とがん治療の両立支援

##### ○きめ細かな健康対策

- ・ マイナス1歳からの母子ともの「目と歯の健康プロジェクト」
- ・ こころの健康増進によるひきこもり対策
- ・ 銀行・郵便局・介護施設などと協力したゲートキーパー拡大など自殺対策

#### ◆県民に寄り添う「日本一の福祉県」

##### ○ひとり親家庭の自立支援

- ・ 子どもたちの育ちへの支援、学習支援、食事の提供などの居場所づくり

##### ○介護待機・介護離職をゼロに

- ・ 待たずに入れる、入って安心・快適な介護施設の充実
- ・ 需要増に応える「坂井モデル・医療介護の包括ケアシステム」を全県展開

##### ○介護士・保育士の人材確保

- ・ やさしい介護のために、さまざまな介護ロボットやAIの活用推進
- ・ キャリアアップ研修、処遇改善、補助者配置により、働きやすい介護・保育現場
- ・ 「保育士・保育所支援センター」を開設、専門相談員が求人・求職をマッチング

##### ○一人ひとりの命が輝く難病対策

- ・ 本人と家族の悩みを真摯に受け止め、きめ細かな対策を継続実施

##### ○家族みんなが健やかに

- ・ 児童虐待、DVなどの未然防止と早期発見・早期対策、関係機関が協力

## II 交流拡大。毎日が楽しくなる福井に

### 5 交通便利、人が集いにぎわう“まち”に

高速交通網整備を着実に仕上げ、新幹線大阪開業に向けた切れ目ない着工を実現します。また、4駅ができる北陸新幹線県内開業や、奥越地域を中京直結の玄関口へと転換させる中部縦貫道開通に向け、新たなまちづくりと地域交通の一体整備をさらに加速し、その効果を最大化します。

#### つぎの4年間で実行する主な政策

##### ◆高速交通は正念場

###### ○確実な敦賀開業

- ・2023年春の北陸新幹線敦賀開業に向け準備加速
- ・新幹線と在来特急の乗継利便性の確保。在来特急の乗り入れの実現を強く働きかけ

###### ○「早く大阪開業」に全力

- ・2030年頃までの大阪開業に向けて関西・北陸が協力。早期認可と敦賀開業から切れ目ない着工

###### ○道路・港湾の整備促進

- ・敦賀開業とほぼ同時期の大野油坂道路の全通、若狭さとうみハイウェイの4車線化
- ・交流の拡大、安全・安心など優先順位をつけ、主要道路・県境道路を整備
- ・敦賀港の機能拡充、小松空港の利便性拡大。海・空の物流・観光を拡大

##### ◆住みたい・働きたい・訪れたいまちに

###### ○開業効果の最大化

- ・官民一体の新幹線開業対策検討会議を設置。PRやイベント等の「ソフト対策総合プラン」の策定と実行

###### ○各エリアの地域構想の実現

- ・「高速交通開通アクション・プログラム」。4駅開業を活かす駅周辺・まちづくり
- ・新たな玄関口・南越駅（仮称）から丹南全域に効果が広がる周辺整備を地元と推進
- ・「若狭湾エリア地域構想」を着実に実行、若狭ルート開業に向け準備を加速
- ・中部縦貫道を活かす東の玄関口・奥越の新構想―観光、企業誘致、移住を促進

###### ○「県都デザイン戦略」第2弾

- ・「県庁移転」の議論開始、福井城址リノベーション計画スタート

##### ◆「新時代交通システム」の構築

###### ○新幹線開業を活かす地域鉄道活性化

- ・並行在来線を機に利用者目線で新駅開設、サービス向上と収益改善を両立
- ・福井鉄道・えちぜん鉄道の高機能化とJR小浜線・越美北線の活性化

###### ○“総合”交通で快適・便利に

- ・鉄道・バス・タクシーの少子・高齢化時代のベストミックス、基幹交通とラストマイルを全体設計
- ・オンデマンド交通や自動運転、貨客混載など新技術・共助型地域交通を充実



## 6 スポーツ・文化で地域に活力

国体・障スポを通して生まれたスポーツ熱や文化芸術への関心の高まりを活かし、暮らしに「楽しさをプラス」した活力ある「ふるさと」づくりを強化します。

また、交流新時代を迎え、県民自身が「ふるさと」の“宝”をより深く楽しむ新県民運動や、世界へと開かれた環境充実により、「ふるさと」への自信や誇り、次世代への継承の気運を高めます。

### つぎの4年間で実行する主な政策

#### ◆県民総参加の「スポーツ福井」

##### ○スポーツに親しみ「共生」・「融合」

- ・世代、性別、障がいの有無を超えて楽しむユニファイド・スポーツ振興
- ・県民スポーツ祭の拡大、「9. 98スタジアム大運動会」を開催
- ・地域に根差した「新・お家芸スポーツ」を育成

##### ○日本の良さで「ふるさとオリ・パラ」開催

- ・東京オリ・パラにあわせ「日本のふるさと探訪」の機会づくり。来日選手・観客を福井へ呼び込み
- ・東京オリ・パラのパブリック・ビューイング

#### ◆身近に親しむトップスポーツ

##### ○「福井から世界へ」の選手育成

- ・東京オリ・パラを目指す県内トップアスリートの競技力向上を強力バックアップ
- ・「スポジョブふくい・障スポ」選手のさらなる活躍の場、全国高校総体福井開催(2021)等に向け次世代選手の技術指導

##### ○トップスポーツをみんなで応援

- ・国際大会「ワールドマスターズゲームズ(2021)福井開催」を県民参加で成功へ
- ・地域スポーツコミッション設立を検討、国内外のスポーツ大会・合宿を積極誘致
- ・東京オリ・パラの合宿等を誘致、トップ選手と県民との交流
- ・企業チームやクラブスポーツの強化や県内初のプロ・スポーツ誕生を応援
- ・フルマラソンの県内開催を検討

#### ◆スポーツと健康づくりの「融合」

##### ○生活の中で健康づくり

- ・福井発「スニーカービズ」への参加を広げ、職域や地域における運動機会を日常化
- ・東大とのジェロントロジー(高齢社会総合研究)をもとに運動・栄養・社会参加によるフレイル予防

## ◆まちに溢れる芸術・文化の力

### ○アートとともにある街

- ・アーティスト村や二地域居住でまちづくりを刺激的に。子どもから大人まで一流の作品・芸術家に触れる機会を拡大
- ・まちをフィールドに開催する大規模フェスを後押し

### ○ものづくりとアートの融合

- ・世界工芸サミットを機に伝統の技とアートを融合、伝統工芸の美を世界に発信

### ○ふるさとを「もっと好き」に

- ・年中どこかで開催、県民総参加の「ふるさと・はぴりゅうフェスタ」
- ・楽しい福井へ、祭り・伝統行事や地域の文化活動を応援。「ふくい文化産業会議」を設置
- ・祭りや万寿・餅まきなど楽しみあふれる「ふるさと伝統行事復活プロジェクト」

## ◆外に大きくひらく福井の文化

### ○福井の伝統や遺産を日本・世界の「宝」へ

- ・越前和紙、丸岡城、中世遺跡、民俗芸能、農業など、ふるさとの「宝」を日本・世界遺産、国宝・重文指定へ
- ・英語版のデジタルアーカイブにより、世界の文化人と福井の歴史遺産交流

### ○福井にしながら世界を体験

- ・遊びを通して学べる英語村を開設。子どもたちが国際経験できる福井に
- ・浙江省との交流拡大。教育・文化を土台に観光・産業へと発展
- ・ラトガース大学、フィンドレー大学との教育学術交流を強化

## 7 ふるさとの風景・コミュニティを大切に

日々の生活や生業の中で守り育ててきた豊かな自然景観や農山漁村のたたずまいを大切に継承し、県民の暮らしにうるおいと安心をもたらす「ふるさとの風景」として次代につなぎます。また市町と協力し、高齢化する地域集落の基盤を自助・共助・公助の力を伸ばし維持します。

### つぎの4年間で実行する主な政策

#### ◆豊かな環境を次代へ

##### ○元気な里山里海湖

- ・全ての市町に「学びの森」、「学びの海湖」。自然の保全・体験活動を推進
- ・「生き物と星空の宝庫」六呂師高原を学びと体験の拠点に、ガイドツアー充実
- ・自然再生や集落活性化のシンボル、コウノトリ等が生息できる環境づくり
- ・暮らしや生業により形成された風景の世界農業遺産、重要文化的景観への選定実現

##### ○世界の資産「若狭の年縞」

- ・年縞研究の国際ネットワークを構築、国内外から研究者が集う三方五湖に

##### ○低・脱炭素のまちづくり

- ・新たな温室効果ガス削減目標に向け「L O V E ・アース・ふくい2030」新展開
- ・再生可能エネルギーを活かし、地域課題解決を実現するビジネスモデルを拡大

##### ○まちをきれいに・モノを大切に

- ・新幹線開業に向け、河川の伐木・浚渫、街路・海岸の抜本クリーンアップ
- ・ごみ減量化の徹底、楽しみながら取り組める「脱プラ」、「食べきり」の運動展開
- ・県内一斉の本、おもちゃ、電化製品、楽器のフリマデー

#### ◆身近な風景と暮らしを守る

##### ○なつかしい景観の保全形成

- ・古き良きふるさとの伝統的民家・まちなみ保存を拡大
- ・新旧の魅力が共存するまちづくりを住民とともに
- ・駅や観光地の周辺など「見せる場所、守る場所」を決めて、景観デザインや案内看板の統一、広告看板の削減など徹底改善

##### ○集落コミュニティ対策をきめ細かに

- ・市町と協力し、次世代の集落の担い手育成を支援
- ・複数の集落が協力して地域を守り活性化する活動、民間と協力した高齢者見守り体制づくりなど、特色ある集落対策を応援

### III 産業飛躍。農林水産業や観光、全産業を発展

#### 8 新分野進出と持続的発展の福井の企業

健康・宇宙・AIなどの成長分野を福井の産業に広く取り込み、地域経済をリードする新産業を創出します。異分野交流等による新たな起業の創出と老舗企業の革新・継承をともに伸ばす両面戦略により、元気な地方産業のモデル県を目指します。

#### つぎの4年間で実行する主な政策

##### ◆革新と創造の産業躍進

###### ○新健康産業の創出

- ・介護、健康・医療、ビッグデータ融合のヘルスケア産業、産学官で実証実験を開始

###### ○福井発の「新ものづくり革命」

- ・「ふくいエアロスペースセンター」を整備、宇宙・航空産業のクラスター形成
- ・宇宙・科学の国際会議と県民衛星打ち上げを成功
- ・研究成果を製品化までつなぐオープンイノベーションの体制強化

###### ○起業チャレンジが活発な福井に

- ・「ITインキュベーションセンター」を整備、企業と大学の共同ベンチャーを促進
- ・i-FUKUIプロジェクト。AI・IoTやテレワークの導入促進、IT企業の新事業展開を支援

##### ◆これからも続く100年企業

###### ○地域ビジネスの元気応援

- ・中小企業の経営革新、技術革新、事業継続、後継者育成、事業“創継”などを支援
- ・眼鏡・繊維・工芸などの海外直結、産地観光、ブランディングを支援
- ・ものづくりキャンパス強化、全国から人材を集める「めがねカレッジ」などを検討

##### ◆人手不足に徹底対策

###### ○「働く福井」から日本の働き方改革

- ・ロボット・AI等による省力化、人材確保などあらゆる企業が直面する課題に対策
- ・外国人と共に住み、働きやすい環境整備。外国人ワンストップ窓口を設置
- ・「健康経営」を認定し、働きやすく生産性も高い企業の育成促進
- ・企業の就労条件・環境を改善する徹底サポートにより、採用と定着率をアップ
- ・資格取得や高度人材の育成などリカレント教育充実、業界が行う人材育成を支援

###### ○働くすべての人びとの賃金アップ、大都市との賃金格差是正の提言活動

##### ◆「外」とつながる福井経済

###### ○ボーダレスの企業誘致・海外展開

- ・ホテル、IT、サービスなど新分野の企業・オフィス誘致、人と企業のセット誘致
- ・「グローバル・ビジネス・プラザ」を開設、小さな企業も海外を目指せる環境充実

###### ○嶺南産業を持続的発展

- ・試験研究炉を中核とした企業・大学ネットワーク、廃炉ビジネス参入を加速
- ・「CO2フリーエリア」に向けた水素、再生可能エネルギーの推進

## 9 夢とコミュニティが生きる農林水産業

農林水産業は、生命をつなぎ、豊かな生活を楽しむための基盤産業です。「農林水産業とともにある福井県」をスローガンに、市場評価を勝ち取るブランド化と新技術等との「融合」により成長産業に転換させます。規模は小さくても誇りと意欲をもって誰もが参加し、みんなで支える農林水産業と食文化を県内各地に広げます。

### つぎの4年間で実行する主な政策

#### ◆次世代農業で競争力向上

##### ○米を基盤に農家所得を最大化

- ・「いちほまれ」ダントツ特Aで勝負。希望農家に生産を開放し、品質を維持して生産拡大
- ・福井米の高品質種子の安定供給・品質維持、水田農業カレッジ創設
- ・スマート農業により省力化と収量アップ。九頭竜川下流域において実証実験
- ・超早播き直播技術により低コスト米を生産、輸出を拡大

##### ○水稻と園芸の「複合経営」拡大

- ・大規模施設園芸を嶺北にも拡大、広域集出荷貯蔵施設により供給期間を延長
- ・水田の1割を畑地化。園芸カレッジを核に地域密着の農業人材育成拠点を開設

##### ○畜産経営の安定

- ・若手経営者や後継者の施設整備支援。三ツ星若狭牛、ふくいポーク、福地鶏を拡大

#### ◆農ある豊かな暮らし

##### ○「生きがい」のみんなの農業

- ・県内に広く「ふるさと農の駅」、オーナー農園、農家レストランなどの拠点づくり
- ・条件不利地の営農支援、女性・若者の力と地域ぐるみ活動で鳥獣害対策を継続向上

##### ○本物の味覚を小さいうちから

- ・食を楽しみながら親子で学ぶ「おにぎり食育」プロジェクト

#### ◆「もうかる漁業」の産地形成

##### ○養殖の拡大・新技術開発

- ・国や大学と「ふくい水産振興センター」設立。魚種と生産を増やし一大養殖産地に
- ・越前がにの漁場改良、保護礁の機能回復、資源管理を徹底

#### ◆“打って出る”食ブランド戦略

##### ○自信と誇りの「福井の食」

- ・日本一うまいもの県の食品産業化―米、野菜、果樹、水産、そばなど、国内外に売り込む「ブランド食材」と福井で味わう「ご当地食材」の両面戦略
- ・「米（さかほまれ）、酵母、水」の全てが福井県産の地酒商品化

#### ◆県産材の伐採期を商機に

##### ○県産材の販路拡大・コスト削減

- ・コミュニティ林業、山際すっきり間伐、生産性の高い木材搬出・造材技術の導入
- ・遊具等の新商品開発、海外販路の開拓、硬化木材など新技術の実証

## 10 「観光産業」の力発揮へ。宿・食・土産に市町の逸品

県内各地の観光・まちづくりを充実させ、高速交通新時代の幕開けにふさわしい「越前・若狭の観光フロンティア」を形成して、国内外から誘客を拡大します。「地域の地域による地域のための観光」をコンセプトに新体制をつくり、新幹線や中部縦貫道の開業効果を県内全域の宿・食・土産などあらゆる産業に波及させます。

### つぎの4年間で実行する主な政策

#### ◆観光・ブランドのオンリーワン戦略

##### ○観光の魅力づくりを総仕上げ

- ・「越前」と「若狭」の良さを活かす観光交流拠点づくりを市町とともに充実
- ・恐竜、年縞、古窯、一乗谷、幕末など歴史をたどる博物館を一体ブランド化
- ・民間の資金・ノウハウを導入した「新たな恐竜博物館」の整備検討
- ・一乗谷朝倉氏遺跡の博物館の完成、フィールドミュージアム化、山城跡を発掘活用
- ・宿泊場所の整備やツアー造成など産業観光を本格推進

##### ○「ニッポンのふるさと 福井」再発見！

- ・福井の良さをブランディング・PR戦略。総合プロデューサーと新イメージ発信

#### ◆県土全域に誘客効果

##### ○「地域の観光経営」新体制

- ・誘客やコンベンション誘致を担う総合体制を整備。官民協力で観光を「経営」
- ・宿泊、食、土産へ誘導するおもてなしと消費額アップのエリア毎プロジェクト

##### ○新鮮・極上の福井の食を前面に

- ・県、市町、団体等が協力し、年間を通じた食の祭り・博覧会
- ・食の歴史・文化を学び、魅力を高める「ふくい“食”のカレッジ」開校

##### ○便利で楽しい観光交通

- ・地域鉄道・JR等と協力し、嶺南・嶺北を縦横断する観光列車実現
- ・観光地直行バス、観光タクシー、レンタカーなど、2次交通戦略を策定・実行

##### ○千客万来・越前若狭へ広域誘客

- ・大阪万博をビッグチャンスに。隣接4県、関西、新幹線沿線の自治体と広域観光

#### ◆世界から招く誘客戦略

##### ○外国人目線の観光おもてなし

- ・“キャッシュレス福井”、交通、買い物すべて簡便に
- ・多言語サービス、Wi-Fi、体験プログラムなど、受入環境整備を官民で徹底
- ・里山里海湖などをインバウンドにつなげる「サステイナブル・ツーリズム」

##### ○福井が舞台のアニバーサリー

- ・「小浜線開通100年」。若狭路に観光列車
- ・新幹線開業記念のデスティネーション・キャンペーン
- ・2022年は「欧亜国際列車開通110周年」。東京・敦賀・ウラジオ・欧州の旅、ツアー造成を働きかけ

## IV 安全安心。暮らしを守る県土づくり

### 11 災害への備えと対応を万全に

近年、災害が多発し大規模化する中、県土強靱化により未災・減災・防災対策を徹底し、ふるさとの暮らしを守ります。

また、警察と協力し、子ども、女性、高齢者をはじめ県民を犯罪や事故から守る対策を徹底強化し、毎日の安心感を高めます。

#### つぎの4年間で実行する主な政策

##### ◆平時からの備えと災害時の即応

###### ○インフラと情報基盤の強靱化

- ・ 県民の生命、財産を守る治山・治水・砂防・海岸堤防・地震対策・雪対策などのインフラ整備促進
- ・ 災害時にも対応できる診療環境、診療情報ネットワークシステム
- ・ 防災情報の伝達収集の多重化・SNS活用の仕組みづくり

###### ○地域住民の「自助・共助」防災

- ・ 消防力、地域防災力を強化。地域防災マップ作成と全集落の「地域防災リーダー」

##### ◆持続可能な県土整備

###### ○質の高いインフラの維持

- ・ インフラのライフサイクルコスト縮減。長寿命化計画、新技術による監視・保全
- ・ 年300億円余を道路や公共施設の維持に充当。次代に安心・安全な暮らしを
- ・ 建設・建築業の生産性向上、担い手の確保・育成を促進

##### ◆「安全・安心ふくい」確実プラン

###### ○子ども、女性、高齢者の安全強化

- ・ 夕方見守り運動の拡大、女子大学生への防犯研修、民生委員も交えた特殊詐欺対策の研修

###### ○世代にあわせて消費者教育

- ・ 成年年齢引き下げに対応、事例にもとづく中高生への教育強化
- ・ 高齢者向けにインターネット通販などのトラブル防止

###### ○犯罪・事故の未然防止

- ・ 犯罪の起きにくい社会づくり。警察による「見える・見せる」パトロール
- ・ 夜の事故をなくす対策、シートベルト着用など、交通事故から県民を守る啓発強化

###### ○特定失踪者の真相究明、拉致問題の解決に的確対応

## 12 責任ある原子力・エネルギー政策

国民生活、産業発展、安全保障の土台となる原子力・エネルギー政策は、国が明確な方向性を示し、国民の理解と信頼を得るよう引き続き強く求め、県民の「安全最優先」と将来展望にもとづく「地域振興」をしっかりと進めていきます。

### つぎの4年間で実行する主な政策

#### ◆安全を第一に未来志向の原子力行政

##### ○責任ある原子力・エネルギー政策の実行を国に対し要請

- ・40年超運転、安全炉への転換、廃炉、使用済燃料、核燃料サイクルなどの課題について、国の責任ある原子力・エネルギー政策の実行を要請

##### ○再稼働への慎重な対応

- ・40年超運転については、県民理解が第一。40年運転の必要性和プラントの安全性を国が前面に立って国民にしっかりと説明・説得することが再稼働の大前提
- ・県は原子力安全専門委員会の審議などにより、プラントの安全性をハード（施設・設備）、ソフト（運転管理）の両面から厳正に確認するなど、慎重に対応

##### ○安全な廃炉を地域経済の活力に変換

- ・「もんじゅ」の燃料取出しなど、廃炉作業の安全・着実な実施を厳正に確認・監視
- ・本格化する廃炉工事への県内企業の参入促進
- ・県内企業と電力会社、プラントメーカー、大学などのユニットによる廃炉技術の開発など、全国の廃炉ビジネスをリード
- ・「もんじゅ」の使用済燃料、ナトリウムの県外搬出計画の具体化を国に要請。「ふげん」の使用済燃料の安全で速やかな海外搬出を厳正に確認
- ・使用済燃料の中間貯蔵施設の立地地点の確定を国・事業者に強く要請。中間貯蔵施設搬出までの安全な保管方法について地元市町とともに検討

##### ○原子力防災対策の充実・強化

- ・県・国・電力事業者連携による原子力災害制圧道路の早期完成
- ・国・事業者・市町とともに、5km圏内（PAZ）、30km圏内（UPZ）の防災対策を継続強化
- ・自衛隊などの実動部隊の強化を国に要請。関係機関や県外避難先との連携を深め、原子力総合防災訓練を強化

##### ○原発立地地域の振興策

- ・原子力政策については、立地地域の理解と納得を基本とし、県民合意の得られる振興策強化を国に強く働きかけ
- ・電源交付金・補助金などについて、廃炉完了までを対象とすることを国に要請



◆嶺南をエネルギー産業の拠点へ

○新「拠点化計画」の策定・実行

- ・「エネルギー研究開発拠点化計画」を改定、嶺南地域における研究開発と産業振興
- ・再生可能エネルギーやLNG、新エネルギー（水素等）など、エネルギー多元化

○原子力人材育成の国際センター

- ・全国の大学や企業等が利用する試験研究用原子炉の着実な整備、利活用が促進されるネットワーク形成
- ・I A E Aとの連携をさらに強化、新たな国際会議等の誘致によりアジアを中心とした世界の原子力人材育成に貢献

## V 県民一丸。「チームふくい」の総力県政

### 13 “信頼” 県政で県民益を最大化

国体・障スポや幕末明治150年博における県民・企業・団体のパワーを結集した「チームふくい」の団結力を土台に、県とすべての市町が一つのテーマでつながり、各分野の「政策融合」を積極的に進めながら、県政を展開します。

#### つぎの4年間で実行する主な政策

##### ◆総力結集のダイナミック県政

###### ○県民・企業・団体・市町との一体県政

- ・現場主義を徹底し、万機公論に決す。各機関と一体となって県民益を最大化
- ・地域の課題・展望に対応し、嶺南振興局の機能・体制を強化

###### ○大都市圏戦略の体制強化

- ・首都圏に営業戦略本部を設置、東京アンテナショップを刷新し、発信力強化
- ・万博やリニア新幹線で成長する大阪・名古屋の拠点機能を拡充、戦略的に関係強化

###### ○「ふくい未来創造ビジョン」の策定

- ・2031年は「福井置県150年」。「確かな未来につなぐ将来ビジョン」を策定

###### ○知事公舎を県民の活動や交流の場として開放

##### ◆質の高い政策をめざす県政

###### ○「幸せ実感」のブランドアップ

- ・「幸福日本一」をもとにSDGs推進。福井SDGs会議を設立し、認証、表彰制度等の仕組みを構築
- ・幸福ふくい出張キャラバンを県内外に派遣 — 「幸せのおすそわけ」キャンペーン
- ・「福井 幸福日本一の秘密」を書籍化、全国の小学校の教材に

###### ○ふるさと納税のさらなる展開

- ・「ふるさと納税自治体連合」の活動強化
- ・ふるさと納税を活用して福井ファンを拡大、「人の流動」を創出

###### ○福井発のふるさと政策

- ・人口減少・少子高齢化社会における「地方モデル」の政策を福井がリード
- ・地方と大都市の格差是正に向け、政治・経済など各方面の政策転換を国に提言

#### 行財政構造改革

###### ○「第五次行財政改革実行プラン」を策定

- ・仕事の縦割りを排除し、「政策融合」を進める新しく柔軟な県庁組織改革
- ・行政手続きのスマート化・スピード化とAI等を活用した仕事の進め方改革

###### ○健全財政の堅持

- ・4年間で150億円を生み出し、新政策を推進

## 【これまでの主な実績】

### 産業の活力と、県民の所得を高める。

#### ○県内総生産 **初の3兆円突破**(※) **2,000億円増加**

2兆9,157億円(H15) → 3兆1,179億円(H27) ※電力業を除く

#### ○国民所得を **24万円上回る** **県民所得316万円**

一人当たり県民所得 3,162千円  
一人当たり国民所得 2,918千円 (算基準改定後のH18~H27の平均値)

#### ○観光入込客数 **380万人増加**、**観光消費額164億円増加**

9,222千人(H15) → 13,043千人(H29)  
813億円(H15) → 977億円(H29)

#### 雇用・中小企業対策を重点実行、農林水産業・観光の強化に全力

- ・厳しい経済情勢の中でも県民の雇用を守り、中小企業対策、県独自の成長戦略を迅速かつ強力に実行。失業率の低さ、求人倍率の高さは全国トップクラスを堅持
- ・15年間で400件以上の企業誘致。6千億円超の設備投資、8千人以上の雇用創出
- ・100億円のファンドや独自の利子補給制度等により県内企業の事業拡大や新分野進出を応援。15年間で県内総生産1割強、製造品出荷額2割強の成長実現
- ・おいしいお米の決定版「いちほまれ」の独自開発に成功。越前がに「極」と合わせて福井の食ブランド化として推進
- ・九頭竜川パイプライン、水産加工施設、木質バイオマス発電施設などの産業基盤を着実に整備。園芸・林業・水産カレッジなど人材育成の仕組みを新たに導入
- ・交流新時代を見通し、市町と議論を積み重ね観光まちづくりに重点投資

### 県民の生活を守る、健康福祉と治安。

#### ○医療の**充実** **医師・看護師数3,000人増加**

10,450人(H14末) → 13,450人(H28)

#### ○**犯罪件数15年連続減で戦後最少**

12,500件(H15) → 3,230件(H29) (1年間の犯罪認知件数)

#### 安全安心の防災・災害復旧に万全

- ・福井豪雨をはじめ幾多の台風・ゲリラ豪雨・大雪災害に現場重視で復旧に迅速対応
- ・原子力政策は、県民の安全を最優先に、ぶれることなく国・事業者と真摯に対峙

## 人口減少に立ち向かい、地方創生を進める

### ○人口減少ペースを**減速** 14,000人改善

2040年の福井県人口(国の推計)

63.3万人(H25.3) → 64.7万人(H30.3)

### ○若者のUターン率 4年連続増の**過去最高**

22.4%(H15) → 31.5%(H30)

### ○幸福度ランキング **3回連続(6年間)日本一**

女性の労働力人口比率、正規雇用者比率、若者完全失業率、高齢者有業率  
待機児童数、合計特殊出生率、勤労者世帯可処分所得、道路整備率  
学力、子どもの運動能力、社会教育費 (トップ10入りの主な指標)

#### 教育、女性活躍応援などで全国をリード

- ・教育委員会と連携した独自の少人数教育や中高一貫校の開設、高校再編等の教育環境整備により、学力・体力日本一を10年間継続
- ・全国に先駆けて取り組んだ「女性活躍社会」の推進、3人っ子応援など福井ならではの子育て環境づくりを進め、女性の就業率、労働力率、共働き率の3冠達成。スウェーデンを超えて世界一(平成29年版 男女共同参画白書)

## 必要な政策を実行しつつ、行財政改革を断行。

### ○県の借金(県債)残高 **2,000億円弱縮小**

6,600億円(H14末) → 4,800億円(H30末見込)

### ○一般行政部門の職員数 **全国最小規模**

3,430人(H14末) → 2,780人(H29)

#### 健全財政を堅持し、県民の暮らし向上に予算配分

- ・県の借金を約2,000億円削減。利子負担の軽減分を含めて、子育て・教育、医療・福祉、経済・雇用、安全・安心など県民生活の質の向上に充当

#### 新幹線・まちづくりなど未来投資促進

- ・福井空港拡張中止を決断。政治力を鉄道・道路に集中し、北陸新幹線敦賀開業の3年前倒しや小浜・京都ルート決定を実現。舞鶴若狭自動車道の全線開通と中部縦貫自動車道の大野開通によって県内主要都市は高速道路でつながる時代に
- ・えちぜん鉄道・福井鉄道の相互乗り入れを実現。福井市とともに県都中心部の再開発